先人の教えを変えずに継承 そして、次世代へ

猩々獅子五段くずし舞保存会会長　伊藤勝文（いとうかつふみ）さん

ひとこと。

Vol.13

今月は、120年続く伝統文化を継承する猩々獅子五段くずし舞保存会会長の伊藤勝文さんにお話を伺いました。

―百二十年の歴史

一已地区に入植した屯田兵が故郷の讃岐地方（香川県）の獅子舞を明治35年に大國神社に奉納したのが一已獅子舞「猩々獅子五段くずし」の始まりでした。

昭和40年には獅子舞を末永く保存しようと稲穂地区に保存会が設立され、同年に市の無形文化財第一号に指定されました。保存会は、昭和51年に一已全域を対象とした会員制に再編成され、「猩々獅子五段くずし舞保存会」として活動を開始し、平成19年には北海道文化財保護功労賞を受賞しました。

―猩々獅子五段くずし

この舞はさまざまな役割と構成で成り立っており、私は小学校4年生から太鼓打ちを担っていました。当時は、太鼓が痛むのを防ぐため「地神宮石（ちじんぐういし）」を太鼓に見立て、差し入れのイモやカボチャを食べながら仲間と稽古に励んでいました。高校を卒業後は、「獅子頭」や獅子の先導役の「猩々」に入ったほか、この獅子舞で一番重要な鉦（かね）打ちの役は30年以上担いました。

―次世代への継承

奉納から一度の変化もなく、120年継承してこれたことを誇りに感じています。

深川市の文化の振興・発展のため、今後も獅子舞を後世に引き継いでいけるよう活動を続けます。

―みなさんへ

市には3つの獅子舞「猩々獅子五段くずし」「納内町猩々獅子舞」「多度志獅子舞（猪殺し獅子舞）」がありますが、人口減で担い手が不足するなどの問題を抱えています。伝統を守るため、みなさんのご協力をお願いします。

ご厚志

（8／31まで）

市▼㈱RUNWAYS代表取締役　斉藤晴紀さん　市政振興のため▼㈱ナゴウェブ代表取締役　鶏冠井悠二さん　市政振興のため▼宮坂建設工業㈱代表取締役社長　宮坂寿文さん　社会貢献事業の一環として

消防施設整備資金▼村中芳彰さん　救急搬送のお礼として▼寺迫真由美さん　救急搬送のお礼として▼山口恒夫さん　母ミサ子さんの死去に際して

市立図書館（図書）▼匿名1人

社会福祉協議会▼小川聖司さん　母芳子さんの死去に際して▼桃野一善さん　母ミヱ子さんの死去に際して▼田中雅敏さん　父昭光さんの死去に際して▼児見山敦さん　母登喜枝さんの死去に際して▼中川功さん　母ハルさんの死去に際して▼古立孝幸さん　母谷枝さんの死去に際して▼吉澤学さん　義母鈴木康子さんの死去に際して▼不藤勉さん　義父髙桑廣さんの死去に際して▼井下宏樹さん　父清實さんの死去に際して▼梅澤八重子さん　夫豊秋さんの死去に際して▼石川雅志さん　母澄子さんの死去に際して▼松野博満さん　母幸子さんの死去に際して▼坪谷正巳さん　夫邦雄さんの死去に際して▼窪田昭夫さん　母キミ子さんの死去に際して▼大瀧登代さん　夫研三さんの死去に際して▼春山カヲルさん　夫藤一郎さんの死去に際して▼藤田眞一さん　父酉藏さんの死去に際して▼山口恒夫さん　母ミサ子さんの死去に際して▼渡邊康貴さん　父武さんの死去に際して

【順不同・団体などの敬称略】

深川市公式LINEの紹介

欲しい情報を選択して受け取ったり、知りたい情報をチャット形式で調べることができる「市公式LINE」を開設。ホーム画面から友だち登録をお願いします。

▼IDを検索して登録
ID選択画面を選んで「@fukagawa_city」と入力

▼QRコードから登録

【問合先】
秘書課秘書広報係（☎26-2216）